■ 委員長報告概要 ■

	令和 6 年 6 月 定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 46 号 令和 6 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 回）について
概 要	今回の補正は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化、いわゆるマイナ保険証について、関係法令に基づき、令和 6 年 12 月 2 日から現行の被保険者証の新規発行を終了し、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行することに伴う関連経費を計上するための補正であり、歳入歳出それぞれ 870 万 1,000 円を追加し、予算総額を 71 億 4,016 万 1,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> * 加入者情報のお知らせを約 7,500 世帯に送付する。 * 本市の国民健康保健被保険者数は 1 万 540 人で、マイナ保険証を持っている人は 67.08% の 7,070 人である。 * 令和 6 年 3 月末時点で国民健康保険被保険者のマイナ保険証利用率は 9.66% である。
討 論	反対：高齢者の方にマイナ保険証に対する理解が進んでおらず、拙速である。移行するにはまだまだ問題があり過ぎる。
結 果	賛成多数で可決

議 案 件 名	議案第 47 号 令和 6 年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算（第 1 回）について
概 要	今回の補正は、歳入歳出それぞれ 90 万円を追加し、予算総額を 66 億 9,873 万 5,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	* さしたる質疑なし
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 49 号 山陽小野田市障害福祉サービス事業所条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	指定障害福祉サービス事業所まっば園が行っているサービスの実態に合わせて、所要の改正を行うもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*令和 6 年 3 月時点の「就労定着支援」サービス利用者は、5 人である。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 50 号 山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について
概 要	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の制定等に伴い、令和 6 年 12 月 2 日から現行の被保険者証の新規発行を終了し、新たに資格確認書等を発行することに対応するよう山口県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて、関係地方公共団体と協議するため、地方自治法第 291 条の 11 の規定により議会の議決を求めるもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*令和 6 年 4 月 15 日時点で、後期高齢者の被保険者数 1 万 1,661 人のうち 7,383 人の方がマイナ保険証を保有されており、63.31%の保有率である。
討 論	反対：高齢者の方にマイナ保険証に対する理解が進んでおらず、拙速である。移行するにはまだまだ問題があり過ぎる。
結 果	賛成多数で可決

■ 委員長報告概要 ■

	令和 6 年 6 月 定例会
	産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 48 号 山陽小野田市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
概 要	条例第 2 条第 4 号中の認定事業者の規定で、令和 6 年 3 月 31 日までに整備計画の認定を受けた事業者を対象としているところ、地域再生法第 17 条の 6 の地方公共団体等を定める省令の一部が改正され期間延長されたことに伴い、本市の条例においても期間を令和 8 年 3 月 31 日までとするもの。
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> * この制度は移転型と拡充型の 2 種類があり、移転型は東京 23 区からの本社機能の移転が対象となり、拡充型は地方にある本社機能の強化が対象となる。 * 計画認定は県が行っており、本市における認定事業者の実績は 2 件である。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

■委員長報告概要■

		令和6年6月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第45号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について	
概 要	<p>今回の補正は、きらら交流館再整備事業、児童手当支給事業、新型コロナウイルスワクチン定期予防接種事業等、取り急ぎ措置すべき案件についての補正であり、歳入歳出それぞれ3億1,089万8,000円を追加し、予算総額を336億622万6,000円とするもの</p>	
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p>【歳入】</p> <p>○19款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項1目財政調整基金繰入金 1,702万1,000円の増額 財源調整として繰り入れるもので、財政調整基金の令和6年度末の予算上の残高は26億2,898万4,000円 <p>○21款 諸収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5項4目過年度収入 6,342万円の増額 令和5年12月の補正予算で措置した物価高騰対策住民税非課税世帯支援給付金追加給付事業に対して、国から令和5年度実績額に基づく追加の交付決定があったため、これを受け入れるもの <p>【歳出】</p> <p>○2款 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1項14目防災費 160万円の増額 一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじの助成金を活用したコミュニティ助成事業で、自主防災組織における防災備品の充実・整備に要する費用を助成されるもの。市が窓口となり、県を通じて一般財団法人自治総合センターに申請し、採択されたもので、交付先は山陽小野田市セーフティネットワーク（主な質疑） *「防災備品はどういったもので、どういった整備をするのか」との質問に「ポータブル電源タイプの蓄電池6台と関連機器であり、充実した避難所運営体制を整備する」との答弁 ・1項16目ふるさと推進事業費 170万円の増額 一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじの助成金を 	

	<p>活用したコミュニティ助成事業。地域コミュニティーの健全な発展を図るために助成されているもので、付先は川上地区自治連合会</p> <p>(主な質疑)</p> <p>* 「当該助成事業にて購入したものを他の地区の自治連合会に貸し出せる事業なのか」との質問に「そういうものではない」との答弁</p> <p>・ 1 項 32 目きらら交流館改修事業費 207 万 9,000 円の増額</p> <p>設計業者が、設計業務の一環として、きらら交流館の現地調査を行ったところ、アスベスト調査、外壁調査及び外構埋設物の位置調査が新たに必要となったため増額するもの。平成 13 年竣工の比較的新しい建物であるため 2 検体程度の調査で足りると見込んでいたが、実際に調査技術の有資格者が調査したところ、20 検体の調査が必要となり、調査費用の増額が生じたもの</p> <p>(主な質疑)</p> <p>* 「外構埋設物の位置調査とはどういったことをするのか」との質問に「新しいきらら交流館は、海側に新たな玄関を設置する予定であり増設の必要があること、管轄する県の宇部土木事務所等に確認したところ地中にあるボックスカルバートの位置が分からないため調査が必要になったことから行うもの」との答弁</p>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決